

大本大阪本苑だより

発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎ (06) 6651-5670
Fax (06) 6651-6611

節分 立春をむかえて まん延防止措置適用の中 本苑 2月月次祭執行

大阪本苑では、2月13日(日)午前10時より2月月次祭を執行した。今月はまん延防止措置の中、役員・分所支部長のみの参拝となった。祭典は伶人入殿、祭員入殿、祓式行事、献饌、斎主立正文参事による今月から一新された月次祭祝詞に続き新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞が奏上された。玉串捧奠、神言奏上、讚美歌斉唱。続いて乙姫様礼拝、祭員、伶人退殿。祭典は清々しく行われ、神門明子参事に「おほもとしんゆ」拜読と続き終了。

甘酒、うどん接待等の行事は中止されましたが、祭典については感染対策、人数制限をより徹底されて無事執行されました。今回このような厳しい状況の中、裏方でご奉仕下さいました大阪本苑の皆様ご苦労様でした。又、本日の月次祭は、分所・支部長並びに役員のみでの参拝とさせて頂きました。教主さまは節分大祭のご挨拶の中で、今回のパンデミックについては、100年前のスペイン風邪と同じように、3年目の冬を過ぎれば終息に近づ

本苑長が節分大祭の教主ご挨拶を代読。本苑長挨拶では、「今年の節分大祭は、全国にまん延防止等重点措置が発出されましたので、恒例の福引、



献饌



斎主「月次祭祝詞」奏上



乙姫様礼拝



本苑長挨拶



「おほもとしんゆ」拜読

いているのではないかと。また、この新型コロナウイルスは、私たちに何をもたらしたのかを、もう一度考えることが大切ではないかとお述べになられました。コロナ終息後の世界は、どのようになっているかわかりませんが、新たな時代へと向かっていると感じさせられております。そして、昨年の瑞生大祭のご挨拶の中で、ワクチン接種はあくまで個人の意思により判断するものとされており、現在、ワクチン接種をしたくない人たちへの強制圧力、同調圧力、差別、行動制限を求める風潮を大変懸念され、また、このワクチンについても、治験が継続される中、今回は緊急事態のためと特例として承認されたものであり予防効果や接種リスクなど、まだ明確でないことが多いにもかかわらず、現在は12歳以上が接種の対象となっているところを、今後の状況によっては11歳未満から5歳、5歳未満から2歳、生後6カ月の赤ちゃんにまで対象を広げることが検討されていることについても大変憂慮されておられました。そして、今回オミクロン株の流行により政府は、本年3月以降11歳から5歳までの子供たちに対して新型コロナウイルスのワクチン接種を開始する方針を表明しました。ご存知のとおり、このワクチンは通常のワクチンではなく遺伝子情報进行操作して作られたワクチンであり、今回は緊急事態のため特例として承認されたものであり、人体への中長期的な影響は不明であります。あくまでもワクチン接種については個人の判断で、決めるのですが、子供においては、自分の意思で決めることは出来ないのです、今は親・大人が判断することが求められます。そのようなことから、1月22

日に教主さまのご教示と厚生労働省のホームページで公開している資料等をもとに、親・大人が自ら考え、自ら判断するために、「子どもへのワクチン接種のオンライン研修会がありました。現在本部のホームページで見れますので、この機会にもう一度、ワクチン接種について考える良い機会ではないかと考えますので視聴よろしくお願いたします。また、来月の企業繁栄祈願祭後に、「美・健・癒・技」研究所所長の富榮スワンソン先生をお迎えして、「人生100年時代」をいかに生きるか。経営者のための健康寿命を延ばす法と題しまして、これからは人生100年時代を明るく、楽しく、前向きにどう生きるかのお話をさせていただきます。また祈願を申込みされていない方につきましても現在コロナ禍において経済が疲弊しておりますので、一日でも早く世の中が良くなるように共に祈願させて頂きたいと思っておりますので皆様のご参拝をお待ちしております。一日も早くコロナが終息し、皆様と共に参拝できますように引き続き終息祈願を継続させていただきます。と述べた。水田編集部長によるお知らせで行事は終了。引き続き節分のご神火、ご神水のご下付と分所支部長会議を開催して散開となった。参拝者64名



YouTube
「大本大阪本苑」
チャンネルで
配信中



なにはげ短歌会開催報告

2月歌会は、オミワロン株まん延防止の為、休会とし浅田先生の添削のみとなりました。(出詠者 17名・詠草34首) (2月の詠草より) (敬称略)

黙食と貼りし食堂横に並び
三首のお歌を小声で唱ふ
中野真由美

松山の眼下にみゆる紀の川と
眩しき太陽背にして草ひく
小野 恵子

短歌会は毎月本苑月次祭の前日の土曜日午後一時より開催しています。
(3月歌会は、オミワロン株まん延防止の為、休会とさせていただきます。)
詠草は本苑にお送りください。

松山だより

和歌山紀の川の松山ご奉仕

1月29日に友人の勧めで初めて本苑の松山の御奉仕に参加させて頂いた。本苑に集合の後、車に乗せて頂き約1時間半程で現地に到着した。山の中腹にある日当たりの良い斜面にせいぜんと並んだ青々とした若松に目を奪われた。山並みのゆつたりとした景色の背後に遥か下界には紀ノ川の市街の眺めも良く思わず深呼吸をしてみた。作業は広い空き地に生い茂った枯れ草やゴミ等の除去に費やされた。日差しも暖かく作業が進むにつれ夢中で体を動かさし心地よい汗をかき作業を終えることが出来ました。まだ参加されておられない方は是非行ってみたい。心地の良い山の空気を味わってみて下さい。
河原富久子(三島分所)



1月29日 9人

松山ご奉仕は、第1、3、5土曜日の午前9時に大阪本苑から出発します。次回は3月19日(土) 来月は4月2日(土) 4月30日(土)です 16日(土)は中止です (天候、その他により中止の場合があります)

高熊山献勞奉仕報告

高熊山献勞奉仕報告

大阪本苑青松会では2月11日(金・祝)高熊山の献勞奉仕を行った。参加者8名午前9時に天恩郷へ集合し、万祥殿前でお礼拝した後マイクワバスで高熊山へ移動。午前中は参道の清掃、本部食堂での昼食を挟み、午後は斜面の草刈りを行った。午後3時で作業を終えて天恩郷に戻り、お礼拝の後、洗心亭で入浴して体を温め、それぞれ帰路についた。晴天に恵まれ日中は暖かかったため、とても清々しく奉仕できた。次回は7月、海の日に開催予定。



松山通信No.7

第3回大公開講座第2回「令和4年生きがい公開講座」配信

2月23日(水)第2回は「あの世を知って今を生きる」人は死んだらどうなるのか?と題して神門 明子 大阪本苑芸術担当理事により大阪本苑月次祭後収録しYouTube「人類愛善会大阪チャンネル」で配信を開始しました。配信開始は毎月第4水曜日の午後7時です。これからもぜひ未信徒の方、家庭内未信徒、未覚信徒の方の聴講をお勧めください。



神門明子講師



YouTube「人類愛善会大阪チャンネル」で配信中

2月乙姫様月次祭執行

春の兆しを感じる中、2月26日(土)午後一時より齋主 岩崎誠子連合会副会長、祭員 小西靖子・亀岡美和子・町村加保里、伶人 中畑祥子・小野なおみ各氏により清々しく執行された。北村有都世・高枝悦美各氏は、つるかめ抄「教育編」を拝読。参拝者62名。今回もユーチユープで同時配信された。祭典後は伊藤忠茂本苑長より講話「今、思うこと」と題して、後継者育成について、子供のとさから神さまに手を合せる環境がいかに大切であるかを、四代教主様のお示しを紹介した。また、大本の役は自分ができるのでなく、神さまから任せられているので、お声がかれば遠慮なくその役を受けてほしい。必ずしもその人が偉いから役が回ってくるのではなく、役がその人を育てるので役をさせていただくこと。今まで見えなかった物が見えてくる。そして、神さまはその時々々に適したエンゼルをつけてくださり、必ずご守護をいただけますので奮ってご用にお仕えしてほしいとご自身の体験を通じて話された。最後に大阪の信徒の皆さんは同じ方向を向いて、これからも教主さまのご神業に励んで大阪からよい型を出していきましよう」と締めくくられた。芸術部より冠沓句の応募のお礼と、気軽に作りましようとお話がありました。その後、三時より「令和三年度総会」を開催、水田千寿連合会会長より挨拶があり直心会活動方針・会計報告・献金バザー報告の後、月次祭直会当番・神饌物係当番ご奉仕の内容について話し合い、閉会となった。献金バザーで手作り「大豆水煮」「みかんジャム」も販売した。縁側で温かい日差しの中でお弁当を食べられていて春を感じる一日でした。



教本認定講習会開催報告

去る2月26日(土)27日に教本認定講習会が大阪本苑で行われた。受講者は、中級4人、初級1人で、講師は初級が末延隆利先生で、中級が田辺嘉一先生でした。

誄詞研修会開催報告

令和4年2月27日(日)午前10時より綾部霊祭課長出口飛鳥氏を講師に迎え誄詞研修会を行った。先日ご昇天なされた母君の葬儀にまつわる体験談を交えて、誄詞の大切さ、意義についてお話しされた。午後からは、午前中に学んだ誄詞の作り方に基き、各自の略歴記入表を書いて自分自身の誄詞を作った。分所支部長だけでなく一般信徒の皆様の参加も多く関心の高さが感じられた有意義な研修会となりました。各分所支部でも葬儀、誄詞について話し合いをしていただいたり皆さんで略歴記入表を書く機会をもうけていただければと思います。天声社で販売している「旅立ちの前に」(220円)をご利用いただければ尚良いかと思えます。



出口飛鳥講師

世界平安安全祈願祝詞改訂(令和4年3月4日改訂)

現在、奏上いただいております「世界平安安全祈願祝詞」に、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻が終わり、情勢が一日も早く平穩になることを祈念させていただく文言を挿入させていただきます。(大本本部ホームページ(信徒専用ページ)からダウンロードできます)

企業繁栄祈願祭執行

去る3月6日(日)午前10時より「大阪本苑企業繁栄祈願祭」が斎主・伊藤香本苑次長のもと、竜宮の乙姫様御前で清々しく執行された。(申込企業50社参拝者53人)

祭典は八雲夢の清らかな音色の中、斎主・祭員が大神様神前に入殿。祓式行事の後、斎主が「企業繁栄祈願祭奏上祝詞」に続き「世界平安・新型コロナウィルス早期終息祈願祝詞」奏上、その後全員で「天津祝詞」を奏上。祭員は竜宮の乙姫様御前に移動し、斎主「企業繁栄祈願祭祝詞」奏上(辞別して起業成就祈願をも含め奏上)後、斎主玉串捧奠に続き伊藤忠茂本苑長、参拝の企業代表者全員が敬虔に玉串を捧奠した。

祭典後、本苑長より「新型コロナウィルスの早期終息とロシア軍によるウクライナ侵攻が平穏に治まるよう共に祈念し、皆様には今後も大神様のおかげを頂き会社を益々発展させて頂きますように。」との挨拶があった。その後、記念講話として、美・健・癒・技・研究所の富榮スワンソン先生の「人生100年時代をどう生きるか」経営者のための健康寿命を延ばす法」と題し、先生の活動を紹介します。DVDを観た後、身体を使つての楽しく有意義な講話を拝聴した。その後、参拝者には、お供えした御札・お神酒・お菓子と神饌物のご下付を受けられ、それぞれ帰途についた。尚、このご祈願は祭典後1週間本苑にて続けられる。



直心会祭式講習会開催報告

春の気配を感じる3月6日(土)午後1時30分より、第2回直心会祭式講習会が開催されました。

参加者は18名、女性祭員のご経験がない方もご参加いただき、和やかな中にも熱心にご指導を仰いでおられました。ご指導くださいました皆様、ありがとうございました。



令和4年生きがい公開講座「予告」

- 3月 神と人との関係(人は神なしに生きていけるのか?) 末延隆利 大阪本苑特任宣伝使
 - 4月 明るく素直に前向きに(人生の本文を尽くす生活の原理) 田辺嘉一 大阪本苑特任宣伝使
 - 5月 人は何のために生きるのか(万物に使命がある) 乾 清高 大阪本苑参事
 - 6月 農は国の大本(土に親しむ機会づくり) 島本光久 農産物産学株式会社 一般社員 富榮スワンソン 会長
 - 7月 生食と健康(正しい食べものと真の健康とは) 坂本由子 人類愛善会理事
 - 8月 芸術は宗教の母なり(芸術と宗教と生活の致し) 浅田秋彦 人類愛善会(アーツ・アンド・クラフツ)大阪協議会 顧問
 - 9月 出口なおの予言(警告)世を立替え直し地上天国へ(吾郷孝志 大本本部特命派遣宣伝使)
 - 10月 出口至仁の救世の世界(万物の救済と地上天国実現) 浅田秋彦 人類愛善会(アーツ・アンド・クラフツ)大阪協議会 顧問
 - 11月 「神・つづの世界・つづの言葉」世界恒久平和の実現(増井さえ子 エス・ペラント講師)
 - 12月 出口至仁の示す「みろく」の世(世界恒久平和の実現) 松本達也 大本本部総代会議長
- 配信は、第4水曜日午後7時から開始

二代様毎年祭選拝祭ご案内

3月31日(木)10時より二代教主様の70年目の毎年祭選拝祭を執行致します。ご参拝をお待ちしております。

本苑春季慰霊大祭ご案内

3月27日(日)午後1時より大阪本苑春季慰霊大祭を執行いたします。大阪本苑に縁ある神霊様の御祭です。多数のご参拝お待ちしております。祭典後は、第34回なにはつ芸術文化祭を開催致します。

奉納行事(予定)

- ◆二絃の会の皆さまの八雲琴演奏
- ◆霊界物語役割拝読
- ◆エス・ペラント「アマルクイズ」

奉納の後はお待ちかねの冠香句開きをいたします。どうぞ、お楽しみに。

高校生講座ご案内

短日開催で高校生講座が開催されます。ふるって参加してください。

〔日時〕 3月27日(日) 午前9時(受付)〜午後5時ごろ

〔会場〕 亀岡市天恩郷

〔対象〕 新高校1年生〜3年生

〔費用〕 10000円

(信徒の参加費は全額本苑が負担)

〔締切〕 3月20日(日)

〔申込〕 大本本部青年部事務局 (詳細は「大本」誌3月号9頁を参照)

大阪本苑春季大祭ご案内

4月10日(日)午前10時より小林龍雄大本部長をお招きして、本苑春季大祭を執行いたします。祭典後に「行う人は岩のごとし」と題しまして、講話していただきますので多数のご参拝をお待ちしております。

当日入試感謝奉告祭を執り行わせて頂きます。1月の入試合格祈願に参拝された方は、是非ご参拝下さい。

四代教主毎年祭選拝祭ご案内

4月29日(金・祝)10時より、四代様を偲び、21年目の毎年祭選拝祭を執行致します。多数のご参拝下さい。

新任宣伝使研修会のお知らせ

4月24日(日)大阪本苑で「新任宣伝使研修会」を行います。教団方針にのっとり「み手代お取次きの活用」をテーマに具体策を見いだせる実践的な研修会を行いたいと思えます。

主な内容と致しましては、過去5年の新任宣伝使を対象とした、み手代お取次ぎ等の研修を予定しております。

〔日時〕 令和4年4月24日(日) 午前10時〜午後4時

〔場所〕 大阪本苑(ご神前の間)

〔持物〕 み手代を持参して下さい

〔費用〕 昼食費500円(実費)

〔締め切り〕 4月18日(木)

大本生きがい常設講座のご案内

大阪本苑では、毎月2〜3回土曜日に「大本常設講座」を開催しています。未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しく願います。

- 午前10時より 『身の上相談』
- 午後2時より 『生きがい講座』
- 第1土曜日 神と人との関係?
- 神は存在するの?人の心とは?
- 第3土曜日 死んだらどうなるの?
- 人は死ぬと宇宙から消えるのか?
- 第4土曜日 人は何のために生きていますの? 人生に目的などあるのか?
- 午後3時半より 『み手代お取次』
- ※一部の参加だけでも構いません。
- 参加費無料。お気軽にご参加ください。
- 〔開催予定日〕 3月19日・3月26日 4月2日・4月16日・4月23日

本苑事務奉仕者募集

長年ご奉仕頂いていた那須裕司氏が本年9月をもって定年退職される為、新たに本苑事務に従事して頂ける方を募集致します。

〔委細面談〕

本苑所蔵 お作品介绍

【一作】 出口王仁三郎聖師さま
【作品名】 掛け軸「ひな人形」
【サイズ】 H1000×W300



「梅 紋」
三代教主様



「葉 皿」
五代教主様

●3月～4月(一部) 行事予定

Table of events from March 13 to April 10, including dates, event names (e.g., 本苑月次祭, エス語講習会), and times.

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更になる可能性があります。

Table of activities from March 27 to April 26, including dates, event names (e.g., 誂詞研修会, 乙姫様月次祭), and participant counts.

「新型コロナウイルス感染症防止のため、大阪本苑の「祝詞と讃美歌」の使用をしばらく中止します。「マイ祝詞・マイ讃美歌」をご持参ください。」

神饌物献納御礼
2月祭典(本苑・乙姫様)には左記の方々より神饌物を献納頂きました。
厚く御礼申し上げます。
○杉谷 直樹様 (天満)
○岡尾 由貴様 (玉川)
○和歌山松山ミカン

マイ箸
マイボトル
マイバック
マイ祝詞・讃美歌

SDGs
貧困に終止符を打ち、地球を守り、環境を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受することができるよう「誰一人取り残さない」
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

帰幽報告
宣伝使 宮城 光裕 毘古(摂津)
令和3年11月6日 帰幽 享年 73歳
宣伝使 重栖 継子 毘女(花園)
令和4年2月11日 帰幽 享年 85歳
宣伝使 開 徹 毘古(旭)
令和4年2月13日 帰幽 享年 85歳
土井 春子 毘女(高槻)
令和4年2月23日 帰幽 享年 95歳
池田 美智子 毘女(旭)
令和4年2月26日 帰幽 享年 87歳
つつしんで哀悼の意を表します。

み手代お取次
○3月月次祭 野口 昌則 宣伝使
○3月春季慰霊大祭 浅田 信 宣伝使
○4月春季大祭 末延 隆利 宣伝使
○5月月次祭 田辺 嘉一 宣伝使
※お取次ご希望の方は事務所まで申し出て下さい。

新入信徒ご紹介 (敬称略)
宮田 眞美 57歳(御津ノ浜)
宮田 松子 83歳(御津ノ浜)
本苑日誌(2月)